

レーザー学会産業賞「優秀賞」受賞



LCDリペア SL465シリーズ

OMRON

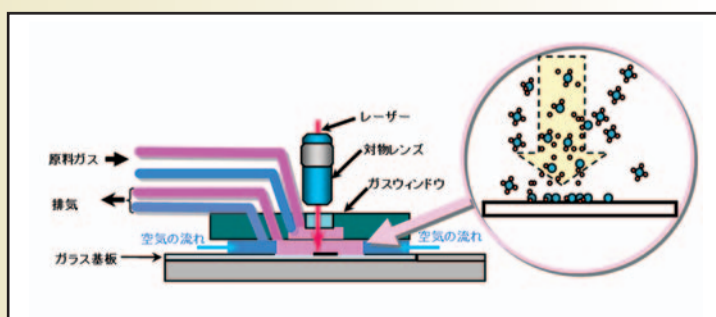
オムロンレーザーフロント(株)



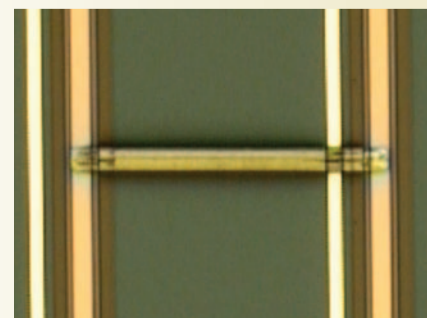
LASERFRONT

装置概要・特性

LCDの製造工程で発生した欠陥箇所をレーザー修正し良品化する装置。レーザー照射しパターンカットするショート欠陥修正のほか、レーザーCVD (Chemical Vapor Deposition) による金属薄膜生成を用いたオープン欠陥修正にも対応している。独自のガスカーテン方式によるレーザーCVDシステム (特許取得済) を開発し、大型チャンバーを不要とすることで装置の小型化 (大型基板化に容易に対応) を実現し、また本方式では基板交換時のガスパーズ時間が不要となるため高いスループットを実現している。2008年、第10世代のガラス基板 (2850×3050mm) に対応したLCDリペア SL465V10の開発を完了した。LCDリペアは、LCDの製造ラインの生産歩留の向上に大きく貢献しており、特に大型パネル生産では不可欠の装置になっている。



ガスカーテン方式レーザーCVD



レーザーCVDによる修正例